

2都市建企第501号
令和2年 8月18日

一般社団法人 東京都建築士事務所協会 御中
一般社団法人 東京建築士会 御中
一般社団法人 日本建築構造技術者協会(JSCA) 御中
特定非営利活動法人 耐震総合安全機構(JASO) 御中
東京都木造住宅耐震診断登録事務所協議会 御中
一般社団法人 東京建設業協会 御中
一般社団法人 東京都中小建設業協会 御中
公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部 御中

東京都都市整備局市街地建築部
耐震化推進担当課長 深尾 彰紀
(公印省略)

令和2年度 被災建築物応急危険度判定員養成講習会の開催について

日頃より、東京都の建築防災行政に多大なご理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。
さて、令和2年度被災建築物応急危険度判定員養成講習会を下記のとおり開催いたします。
つきましては、貴機関の機関紙、ホームページ等への掲載など、貴会会員の方々への周知をよろしく
お願いいたします。
募集資格等につきましては、別添募集案内において御確認をお願いいたします。

記

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 日 時 | 第1回 令和2年 10月16日(金曜日) 13時00分から16時30分まで
第2回 令和2年 11月27日(金曜日) 13時00分から16時30分まで |
| 2 | 場 所 | 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール
(渋谷区代々木神園町3-1) |
| 3 | 定 員 | 各回 375名 |
| 4 | 講習内容 | (ア) 事務局について (イ) 東京都の震災対策について
(ウ) 応急危険度判定制度について (エ) 応急危険度判定活動の事例について
(オ) 応急危険度判定技術について |
| 5 | 募集締切 | 第1回: 9月30日(水曜日)まで、第2回: 11月13日(金曜日)まで |

※申込み方法等、詳しい内容は別紙「被災建築物応急危険度判定員募集のご案内」を御参照下さい。

【書類提出先】

東京都防災ボランティア(被災建築物応急危険度判定)事務局
一般社団法人 東京建築士会「防災ボランティア係」
住所 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町11-1 富沢町111ビル5階
電話 03-3527-3100

【制度に関する問合せ先】

東京都都市整備局 市街地建築部
建築企画課 耐震化推進担当
担当: 米倉、金井、松本
TEL : 03-5388-3339(直通)

令和 2 年度 第 1・2 回 被災建築物応急危険度判定員募集のご案内

1. 応急危険度判定

応急危険度判定は、余震等による建築物の倒壊などに伴う二次災害を防止するため、地震発生後できるだけ早く、かつ短時間で建築物の被災状況を調査し、その建築物の当面の使用の可否を判定するものです。

2. 防災ボランティア制度

防災ボランティア制度は「東京都地域防災計画」に基づくもので、専門的な技術をもつ民間の方々を平常時から登録させていただき、災害時にボランティアとしての活動をお願いする制度です。この防災ボランティアの業務のひとつが応急危険度判定であり、建築技術の専門家である建築士の方々に協力をお願いする分野です。

3. 応急危険度判定員の募集

次のとおり、防災ボランティア制度に基づく応急危険度判定員として登録させていただく方を募集します。登録を希望する方には講習を受けていただき、受講後、登録証を発行します。なお、東京都では平成 7 年度よりボランティアの養成に努めてきたところであり、現在約 13,000 名を越える方が登録されております。

受講資格

建築士の資格を有する方で、東京都内に在住又は在勤の方（建築士法第 2 条に規定する 1 級、2 級、木造建築士）

講習の内容

- (ア) 事務局について
- (イ) 東京都の震災対策について
- (ウ) 応急危険度判定制度について
- (エ) 応急危険度判定活動の事例について
- (オ) 応急危険度判定技術について

開催日

第 1 回 **令和 2 年 10 月 16 日(金)** (申込×切：9 月 30 日)

第 2 回 **令和 2 年 11 月 27 日(金)** (申込×切：11 月 13 日)



**国立オリンピック記念青少年総合センター
カルチャー棟 大ホール** (渋谷区代々木神園町 3-1)

各回全て **13:00～16:30** (受付 12:00～) **定員 375 名** ※感染症拡大防止に伴い座席間隔を保つため収容定員を減らしております。

※第 1 回、第 2 回の講習は同じ内容です。いずれかをお申し込み下さい。(両日ともご受講いただく必要はありません。)

登録証の交付

講習を修了した方には、「東京都防災ボランティア(応急危険度判定員)登録証」を配布します。

申込方法

受講をご希望の場合は、郵送申請もしくは電子申請のいずれかの方法にてお申し込み下さい。

郵送申請

次の書類①②③を下記記載の東京建築士会「防災ボランティア」係まで、封筒に「東京都防災ボランティア登録申込書在中」と朱書きしで郵送又はご提出ください。

- ① 「東京都防災ボランティア登録申込書」(必要事項を全てご記入の上、③を所定の位置に貼付してください。)
- ② 建築士免許証(証明証)の写し
- ③ カラー写真 2 枚 (同一で申込前 6 ヶ月以内に撮影した縦 3cm×横 2.5cm、無帽、正面、上半身無背景、裏面に氏名を記載)

電子申請

フォーム先

<https://koushuukai.com/hantei/>

【東京建築士会HPからもリンクできます】※目的外利用は行いません

※講習会当日に上記記載の書類②③をご持参ください。



ご注意

- ・受講票は順次、申込書及び申込フォームに記入いただいた住所に発送いたします。当日開催会場へ必ずご持参ください。
- ・申込みされた書類は返却いたしませんので、ご了承ください。
- ・受講希望者が定員を超えた場合、申込先着順と致します。定員超過により受講をお断りする場合は、事務局からご連絡致します。
- ・新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、マスク着用、検温、手洗い・うがいの徹底、会場内の静粛保持のご協力をお願いいたします。また、講習は一人一卓とし、体調不良者の場合、ご退場をお願いさせていただくことがありますこと、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ・申込書送付先】

東京都防災ボランティア(被災建築物応急危険度判定)事務局
〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 11-1 富沢町 111 ビル 5 階 一般社団法人 東京建築士会内
電話 03-3527-3100 E-mail: hantei@tokyokenchikushikai.or.jp

【制度に関するお問い合わせ先】

東京都 都市整備局 市街地建築部 建築企画課 耐震化推進担当 電話 03-5388-3339

令和 年 月 日				
令和2年度 東京都防災ボランティア登録申込書				
氏 名 _____ 印 _____				
私は、東京都防災ボランティアとして活動したいので、下記のとおり申し込みます。				
東 京 都 知 事 殿				
ボランティア活動の種類		建築物の応急危険度判定		
免許等の種類・登録番号		1 級・2 級・木造（ 都道府県知事登録）登録番号 第 号		
住 所	〒 _____			
	電 話 （ ）		携帯電話 （ ） F A X （ ）	
(フリガナ)	(姓)	(名)	性 別	男 ・ 女
氏 名				
生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日		血液型	R H + - ・ A 型 B 型 ・ O 型 ・ A B 型
勤務先 (部課名まで ご記入くだ さい)	名 称			
	所在地 〒 _____			
	電 話 （ ）		F A X （ ）	
緊急時の 連絡先	自宅 ・ 勤務先 ・ 携帯電話 ・ その他（ ）：電話 （ ）			
メール アドレス	メールアドレス（携帯）：			
	メールアドレス（P C）：			

私は、令和2年 { ①10月16日（金） } の応急危険度判定講習会を受講したく申し込みます。	
{ ②11月27日（金） } ※希望の日付に○を付けてください。（各回同一内容）	
所属建築関係団体	☐ 一般社団法人東京都建築士事務所協会 ☐ 一般社団法人日本建築構造技術者協会
	☐ 特定非営利活動法人耐震総合安全機構 ☐ 一般社団法人東京建築士会
	☐ 東京都木造住宅耐震診断登録事務所協議会 ※所属する団体全てにレ点を
	☐ 公益社団法人日本建築家協会関東甲信越支部 記入してください。
	☐ 上記の団体には所属していない、または不明である
活動希望地	☐ 住所地の行政庁 ☐ 勤務先所在地の行政庁

※(注意事項) 枠内は、防災ボランティア登録の際重要ですので、漏れなくご記入ください。
上記の内容を区市町村及び記入された所属建築関係団体へ提供させていただきます。
登録情報の目的外利用は行いません。
震災時には、上記でレ点を記入した団体、及び自治体から、メール等を用いて連絡があります。

カラー写真（縦3 c m×横2.5 c m）
※注 写真サイズは必ずご確認ください
※注 2枚とも写真の裏面に氏名を記入してください

登 録 番 号	— —
---------	----------

(※この欄は記入しないでください)

